



令和5年度 東京都立松原高等学校定時制課程 学校経営計画

スクール・ミッション

「人格の完成を目指し、有為な社会人を育成する」を目標とし、基礎学力を定着させる授業、社会とのつながりを一歩ずつ体感させるキャリア教育、近隣大学や地域、家庭等と連携した教育活動を通じて、社会の変化に対応し、様々な問題に対して課題解決ができる人材、社会の要請に応え社会に必要とされる人材を育成します。

目指す学校

本校の教育目標である「人格の完成を目指し、有為な社会人を育成する。」を実現するため、教職員を含む「チーム学校」としての力を結集し、次のような学校づくりに努める。

- (ア) 社会人として必要な資質を備えた人材を育成する学校。
- (イ) 社会の一員として責任ある態度で生きる力を育成する学校。
- (ウ) 生徒や保護者からの期待に応えると共に、都民からも信頼される学校。

これらの実現のために、「スクール・ポリシー」も踏まえた以下の目標を設定し、達成に向けた方策に取り組む。更に、「しっかり、ゆっくり、一歩ずつ」を基本方針とした指導により「地域で一番面倒見のいい学校」を目指す。

中期的目標と達成に向けた方策 (方策：①～⑦)	今年度の取組目標と達成に向けた具体的方策 (目標：①～⑦／方策：○)	具体的な方策に関する数値目標 (目標：①～⑦)
<p>1 各教科・科目等の基礎・基本を、生徒が確実に身に付ける指導を行う。(学習指導)</p> <p>①基礎学力をしっかり定着させる学習指導を行う。</p> <p>2 社会の一員としての自覚に基づき行動するための資質・能力を育成する。(進路指導)</p> <p>②ルールやマナーの遵守を重視した生活指導を行う。</p> <p>③よりよい人間関係を形成し、自己実現を図るための指導を行う。</p> <p>④望ましい勤労観や職業観を育成するためのキャリア教育を行う。</p> <p>3 主権者として自己の在り方生き方を主体的に考えるための指導を行う。(生活指導)</p> <p>⑤社会人として必要な基本</p>	<p>①「カリキュラム・ポリシー」を踏まえた学習指導の充実を図り、生徒の基礎学力を定着させる。</p> <p>○個々の生徒の学習面での課題を把握し、その解決のための指導を着実に行う。</p> <p>○各教科で生徒の一人ひとりにあった教材開発を行い、個別最適な指導を行う。</p> <p>②「都立高校生活指導指針」に基づく指導により、ルールやマナーを遵守する態度を育てると共に、いじめをゼロにする。</p> <p>○遅刻防止、挨拶の励行などの指導を、全教職員で実施する。</p> <p>③部活動と学校行事での指導により、自他を認めて尊重し合う精神を涵養する。</p> <p>○「運動部・文化部ガイドライン」に基づき、体罰のない部活動指導を実施する。</p> <p>④「グラデュエーション・ポリシー」も踏まえた、社会的・職業的自立に向けた進路指導を行う。</p> <p>○ハローワークなどの関係機関とも連携し、意図的・計画的なキャリア教育を行う。</p> <p>⑤「学校健康推進計画」に基づく学校保健指導の充実により、健康や体力の向上を目指す。</p>	<p>①-1「学校評価アンケート」での、生徒の授業の満足度に関する質問での肯定的な評価を80%以上とする。</p> <p>① -2</p> <p>②「学校評価アンケート」での、生徒の学校生活の満足度に関する質問での肯定的な評価を85%以上とする。</p> <p>③部活動と学校行事への参加率を90%以上とする。</p> <p>④卒業時の進路決定率を100%とする。</p> <p>⑤「「TOKYO ACTIVE PLAN for students」」に基づく体力向上の取組として、「東京都児童生</p>

<p>的生活習慣を確立させる指導を行う。</p> <p>⑥「グラデュエーション・ポリシー」も踏まえ、社会参画のための指導を行う。</p> <p>4 地域や都民の期待に応える学校づくりに努める。(学校運営、組織体制)</p> <p>⑦地域や都民の要望を踏まえた教育活動を行う。</p> <p>⑧生徒・保護者等の要望に合致した、教育活動に関する情報発信を行う。</p>	<p>○保護者とも連携し、食事、睡眠、運動の大切さを理解させる指導を行う。</p> <p>⑥「自殺対策基本法」や「自殺総合対策大綱」に基づく生徒の自殺防止のための指導を行う。</p> <p>○「精神不調アセスメントツール (RAMP S)」の活用や、スクールカウンセラーとの連携で、生命に関わる重大事故の発生を防止する。</p> <p>⑦-1「東京都教育ビジョン (第4次)」、「未来の東京戦略」に基づく教育の実現を目指す。</p> <p>○デジタル技術を活用した教育の推進を目指す。</p> <p>○校内研修等をとおして、教職員が協同して、自校の教育課題の解決を図る。</p> <p>⑦-2「学校における働き方改革推進プラン」に基づき、業務の縮減と効率化を推進する。</p> <p>○教職員のライフ・ワーク・バランスに関する意識を高めることで、在校時間の一層の縮減に取り組む。</p> <p>⑧学校説明会等を必要に応じて実施することで、本校の教育の広報活動を推進する。</p> <p>○学校案内を中学校等へ配布し、「アドミッション・ポリシー」に理解のある生徒の募集に努める。</p>	<p>徒体力運動能力生活運動習慣等調査」を実施する。</p> <p>⑥SOSの出し方に関する教育を推進し、生命に関わる重大事故をなくす。</p> <p>⑦-1 各教員が1つ以上のオンラインに対応した教材を開発し、生徒一人1台端末に対応する。</p> <p>⑦-3 月当たりの時間外 在校等時間 45 時間超過の教職員をゼロにする。</p> <p>⑧原級留置者と中途退学者をゼロにする。</p>
--	--	--

スクール・ポリシー

<p>1 グラデュエーション・ポリシー</p> <p>基礎学力と社会人基礎力を身につけ、社会の変化に対応し、自らを変え続ける力を持てるように、生涯を通じて自ら学び、文化・スポーツに親しみ、地域社会への参加ができる大人になるために、つぎの三つの力を身につけさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画を立て、仲間と協働して課題解決ができる力。 ・基礎学力と社会生活の基本的なルールなどを守る力。 ・急激な社会の変化に対応する力。 <p>2 カリキュラム・ポリシー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着のために、ICTなどを活用し繰り返し学習を行う。 ・主体的・対話的で深い学びの実現、急激な社会の変化に対応する力をつけるために、「総合的な探究の時間」や多くの授業などにおいて、教科横断的な学習課題を設定する。上級学校、企業など地域と協力して課題解決型の学習課題を設定し、ICTを活用した仲間との協働学習や体験学習を計画的に行う。 <p>3 アドミッション・ポリシー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な学力向上の為に学習や学校行事、部活動等に取り組み、自分の良いところを発見し、伸ばし、自らの希望する進路を実現しようとする生徒。 ・学校内においては、周囲の人への思いやりや優しさをもち、学校外においては、地域の人たちと交流して、ボランティア活動に取り組み、地域活動を企画提案しようとする積極的な態度を持つ生徒。
